

令和2年

# 別府市特別功労表彰



11月3日「文化の日」、別府市は市政の振興、公共の福祉増進や文化の向上などに貢献された方の功績をたたえ表彰しました。「特別功労表彰」を受賞された6人1団体の方々、「功労表彰」を受賞された37人4団体の方々を紹介いたします。(順不同)

## 別府八湯ウォーク連絡協議会様



平成11年から地元ボランティアガイドによる市内の街歩きツアー「別府八湯ウォーク」を実施され、独自の工夫を凝らした20近くものコースを造成。別府の魅力伝える活動として市民の生活・文化・歴史に根ざしたありのままの別府を体感するツアーを長年実施され、各ガイドはツアー参加者を温かく迎えておもてなしの実践に尽力されるなど、観光振興の発展に寄与されている。

たにぐち 英昭さん



昭和51年から別府市歯科医師会の理事を12年、協議会議長を3年、会長を3年、監事を10年、合計28年間別府市歯科医師会の要職を歴任され、会員の学術の研鑽をはかり医療向上に努め、地域医療・保健の普及向上に寄与された。また、地域住民に対する歯科治療や学校歯科保健活動に尽力され、東日本大震災では警察歯科医として身元確認に助力された。

おおくま 信幸さん



昭和61年から別府市薬剤師会の理事を11年、監事を10年務め、別府市薬剤師会の運営に携わり、支部の発展に貢献された。また、昭和55年から学校薬剤師として教育現場や水質、衛生の検査指導を長年行い、地域の保健衛生に寄与されたほか、阪神淡路大震災では現地で薬剤師ボランティアを行い、被災者支援に助力された。

とうない 英伸さん



昭和49年に消防団員拜命後、率先した地域住民への火災予防の周知活動や勇敢な災害活動などが認められ、昭和52年4月から消防団本部に異動。平成26年の湯山林野火災では出動団員130人を束ね陣頭指揮を行い、延焼を最小限に抑えた。平成30年4月に消防団長に就任後は、消防団組織の強化・充実、消防装備等の機動化を図るなど消防団の活性化及び増員対策に寄与されている。

ながお 秀樹さん



昭和61年から学童野球チームの監督として34年間指導を行い、少年球児の技術向上、健全育成に寄与された。小学校3年生以下の試合(現オレンジボール大会)の実現や別府市内学童野球チームの冬の運動会(親善オリンピック)会長を務めるなど、少年野球の普及、振興活動に努め、多くの球児を育成した功績は多大である。

びの 耕一さん



別府市陸上競技協会の理事を25年、理事長を18年、現在は副会長として協会の運営、選手の指導育成などに尽力されている。また、小学生陸上教室を立ち上げ、小学生の指導及び指導者の育成を28年間、年60回開催し、これまでに全国大会出場者18人、県記録者2人を含め、卒業生はのべ千200人以上にのぼり、陸上競技の普及啓発及び生涯スポーツの推進に多大な功績がある。

いたい 恵子さん



平成元年から民生委員児童委員に就任し、一人暮らし高齢者などの見守り支援を続け、地域住民のパイプ役として行政等関係機関と密に連携をとり、現在は民生委員児童委員協議会の副会長として牽引し、地域福祉の向上に努めている。また、別府市社会福祉協議会評議員や別府市要保護児童対策地域協議会委員などの役割を多く担っており、地域福祉に貢献されている。

令和2年

# 別府市功労表彰

(敬称略・順不同)

## 自治部門

國實久夫 野上泰生 山本國雄

田中信行 古庄改造 古城正一

平原六男 平石栄二 麻生英俊

森永静夫 池田美代子 三重野治久

井上直利 大野雅之 伊藤征一郎

## 公共福祉部門

東田晃次 赤嶺リサ 末次由和

佐藤富美子 山川妙子 渡邊津貴子

後藤智 久保田麻里子 荒金薫

安藤慶子 岡田洋輔 衛藤富喜雄

後藤公子 柴田悦子 ぼけつとの会

村田辰己 藤内正行 江藤達治

前田和宏 別府温泉杉乃井ホテル

美湯の宿 両築別邸

## 教育・文化・スポーツ部門

水谷浩一 清時重男

## 市民活動部門

別府友の会 中田宗治 奈須和美

## 特別功労表彰

氏名 (敬称略)	谷口 英昭
役職等	元別府市歯科医師会会長
功績内容	昭和51年から別府市歯科医師会の理事を12年、協議会議長を3年、会長を3年、監事を10年、合計28年間別府市歯科医師会の要職を歴任され、会員の学術の研鑽をはかり、医療向上に努めるとともに、地域医療・保健の普及向上に寄与された。また、地域住民に対する歯科治療や学校歯科保健活動に尽力されたほか、東日本大震災では警察歯科医として身元確認に携わった功績は多大である。

氏名 (敬称略)	藤内 英伸
役職等	別府市消防団長
功績内容	昭和49年に消防団員拝命後、率先した地域住民への火災予防の周知活動や勇敢な災害活動などが認められ、昭和52年4月から消防団本部に異動となった。平成26年の湯山林野火災では、出動団員130名を束ね陣頭指揮を行い、延焼を最小限に抑えた功績は多大である。平成30年4月に消防団長に就任後は、消防団組織の強化・充実、消防装備等の機動化を図るなど消防団の活性化及び増員対策に積極的に取り組んでいる。

氏名 (敬称略)	尾野 耕一
役職等	別府市陸上競技協会副会長
功績内容	別府市陸上競技協会の理事を25年、理事長を18年、現在は副会長として、協会の運営、選手の指導育成などに尽力されている。また、小学生陸上教室を立ち上げ、小学生の指導及び指導者の育成を28年間、年60回開催し、これまでに全国大会出場者18名、県記録者2名を含め、卒業生はのべ1,200人以上にのぼり、陸上競技の普及啓発及び生涯スポーツの推進に多大な功績がある。

氏名 (敬称略)	大隈 信幸
役職等	元別府市薬剤師会理事
功績内容	昭和61年から別府市薬剤師会の理事を11年、監事を10年務め、別府市薬剤師会の運営に携わり、支部の発展に貢献された。また、昭和55年から学校薬剤師として教育現場や水質、衛生の検査指導を長年行い、地域の保健衛生へ寄与されたほか、阪神淡路大震災では現地で薬剤師ボランティアを行い、被災者支援に助力された功績は多大である。

## 特別功労表彰

氏名 (敬称略)	長尾 秀樹
役職等	前上人少年野球部監督
功績内容	昭和61年から学童野球チームの監督として34年間指導を行い、少年球児の技術向上、健全育成に寄与された。小学校3年生以下の試合（現オレンジボール大会）の実現や別府市内学童野球チームの冬の運動会（親善オリンピック）会長を務めるなど、少年野球の普及、振興活動に努め、多くの球児を育成した功績は多大である。

氏名 (敬称略)	板井 恵子
役職等	別府市民生委員児童委員協議会副会長
功績内容	平成元年から民生委員児童委員の職に就き、一人暮らし高齢者や高齢世帯等の見守り、支援を続け、地域住民のパイプ役として行政等関係機関と密に連携をとり、現在は協議会の副会長として牽引し、地域福祉の向上に努めている。また、別府市社会福祉協議会評議員や別府市要保護児童対策地域協議会委員など社会福祉関係機関の役職を多く担っており、地域福祉への貢献は多大である。

氏名 (敬称略)	別府八湯ウォーク連絡協議会
役職等	ボランティア団体
功績内容	平成11年から地元のボランティアガイドによる別府市内の街歩きツアー「別府八湯ウォーク」を実施されており、独自の工夫を凝らした20近くものコースを造成。市民の生活・文化・歴史に根ざしたありのままの別府を体感するツアーは、別府の魅力を伝える活動として長年実施され、各ガイドは、ツアーの参加者をあたたかく迎え、思い出の旅となるようおもてなしの実践に尽力されるなど、観光振興の発展に寄与した功績は多大である。

# 功労表彰

## 自治部門（15名）

（敬称略・順不同）

氏名	功績内容
國實 久夫	平成15年別府市議会議員に初当選以来、連続4期16年余にわたり市議会議員として地方自治の振興と市勢の発展に尽力し、その間、市議会副議長、市議会決算特別委員会委員長を務められたほか、市議会観光経済委員会副委員長、市議会建設水道委員会副委員長、市議会総務文教委員会副委員長等の要職を歴任し、市民福祉の向上並びに市勢の振興に多大な貢献をされた。
野上 泰生	平成23年別府市議会議員に初当選以来、連続2期8年余にわたり市議会議員として地方自治の振興と市勢の発展に尽力し、その間、市議会副議長を務められたほか、市議会総務文教委員会副委員長として委員長と共に、市民福祉の向上並びに市勢の振興に多大な貢献をされた。
山本 國雄	平成17年の農業委員会委員改選後、12年にわたり農業委員として務められ、農業者の代表として積極的に別府市の農業振興に尽力するとともに、長年の農業者としての経験で農業委員会の活動強化と資質向上に尽力し、他の農業委員の信頼も厚い。また、平成8年から現在に至るまで別府市の認定農業者として活躍されている。
田中 信行	平成14年の農業委員会委員改選後、12年にわたり農業委員を務められ、農業者の代表として別府市の農業振興に寄与し、平成17年から3年間は副会長として、長年の経験で農業委員会の活動強化と資質向上に尽力された。特に椎茸栽培に携わり、平成18年から7年間別府市認定農業者として活躍し、立ち上げた林研グループの初代会長として市の椎茸栽培を牽引。平成9年からは大分県椎茸農協青壮年部長や同農協理事を歴任するなど農業分野の発展に大きく貢献された。
古庄 改造	平成17年に別府市交通安全指導員に任命されて以来、児童・生徒を交通事故から守るために登校時に街頭で、交通安全指導に献身的に尽力されている。また、市の公的行事や地域の交通安全指導に要請がある時は、交通混雑がある場所で交通整理を行うなど積極的に取り組み、地域の交通安全の維持への貢献は多大である。
古城 正一	平成19年に別府市交通安全指導員に任命されて以来、児童・生徒を交通事故から守るために登校時に街頭で、交通安全指導に献身的に尽力されている。また、市の公的行事や地域の交通安全指導に要請がある時は、交通混雑がある場所で交通整理を行うなど積極的に取り組み、地域の交通安全の維持への貢献は多大である。
平原 六男	平成19年に別府市交通安全指導員に任命されて以来、児童・生徒を交通事故から守るために登校時に街頭で、交通安全指導に献身的に尽力されている。また、市の公的行事や地域の交通安全指導に要請がある時は、交通混雑がある場所で交通整理を行うなど積極的に取り組み、地域の交通安全の維持への貢献は多大である。
平石 栄二	平成20年から中島町自治委員として、住民福祉の向上や安全・安心のまちづくりに努められている。また平成22年からは自治委員会西地区の支部長として、9町からなる西地区全体の地域融和に大きく貢献されている。さらに、令和2年からは自治委員会監事として、別府市全体の福祉向上のために尽力されている。
麻生 英俊	平成20年から12年間上人南自治委員として、住民福祉の向上や安全・安心のまちづくりに貢献された。

# 功労表彰

自治部門 (つづき)

(敬称略・順不同)

氏 名	功 績 内 容
森永 静夫	平成20年から富士見町自治委員として、住民福祉の向上や安全・安心のまちづくりに努められている。また平成22年からは自治委員会野口地区の副支部長として、7町からなる野口地区全体の地域融和に大きく貢献されている。
池田 美代子	平成20年から田の湯町自治委員として、住民福祉の向上や安全・安心のまちづくりに努められている。また平成30年からは自治委員会青山地区の副支部長として、7町からなる青山地区全体の地域融和に大きく貢献されている。
三重野 治久	平成20年から浜脇三丁目自治委員として、住民福祉の向上や安全・安心のまちづくりに努められている。また平成30年からは自治委員会浜脇地区の副支部長として、16町からなる浜脇地区全体の地域融和に大きく貢献されている。
井上 直利	平成20年から石垣東八丁目自治委員として、住民福祉の向上や安全・安心のまちづくりに努められている。また令和2年からは自治委員会石垣地区の副支部長として、8町からなる石垣地区全体の地域融和に大きく貢献されている。
大野 雅之	平成20年から鳥越自治委員として、住民福祉の向上や安全・安心のまちづくりに努められている。また、平成26年から4年間自治委員会浜脇地区の副支部長として、16町からなる浜脇地区全体の地域融和に大きく貢献された。
伊藤 征一郎	平成20年から亀川中央町1区自治委員として、住民福祉の向上や安全・安心のまちづくりに努められている。

# 功労表彰

公共福祉部門（18名・3団体）

（敬称略・順不同）

氏名	功績内容
東田 晃次	平成21年に別府商工会議所議員に就任以来、11年以上にわたり献身的な努力をされ、10年間の長きにわたり常議員、委員長を歴任するなど地域商工業発展のために尽力されている。
赤嶺 りサ	平成19年に別府商工会議所議員に就任以来、13年以上にわたり献身的な努力をされ、10年間の長きにわたり常議員を務めるなど地域商工業発展のために尽力されている。
末次 由和	大分県獣医師会理事を8年、平成28年から大分県獣医師会別府支部支部長を務められている。長年、狂犬病予防に従事し、本市の公衆衛生の維持向上や獣医師の後進育成に貢献されている。また公営ドッグラン開設後はNPO法人べっぶドッグラン協会を立ち上げ、動物との触れ合いを通じ動物愛護精神を涵養するとともに、県内外から愛犬家が来別するなど、観光振興にも尽力されている。
佐藤 富美子	長年にわたり、民生委員・児童委員として何事にも積極的に取り組み、地域福祉の向上のために尽力され、現在は、浜脇地区民生委員児童委員協議会の副会長として、単位民生委員児童委員協議会の運営に貢献されている。
山川 妙子	長年にわたり、民生委員・児童委員として何事にも積極的に取り組み、地域福祉の向上のために尽力され、現在は、児童母子・父子部会の部長として、児童母子・父子部会の運営に貢献されている。
渡邊 津貴子	長年にわたり、民生委員・児童委員として何事にも積極的に取り組み、地域福祉の向上のために尽力され、現在は、石垣地区民生委員児童委員協議会の会長として、単位民生委員児童委員協議会の運営に貢献されている。
後藤 智	長年にわたり、民生委員・児童委員として何事にも積極的に取り組み、地域福祉の向上のために尽力され、現在は、主任児童委員部会の部長として、主任児童委員部会の運営に貢献されている。
久保田 麻里子	長年にわたり、民生委員・児童委員として何事にも積極的に取り組み、地域福祉の向上のために尽力され、現在は、石垣地区民生委員児童委員協議会の副会長として、単位民生委員児童委員協議会の運営に貢献されている。
荒金 薫	長年にわたり、民生委員・児童委員として何事にも積極的に取り組み、地域福祉の向上のために尽力され、現在は、上人地区民生委員児童委員協議会の副会長として、単位民生委員児童委員協議会の運営に貢献されている。

# 功労表彰

## 公共福祉部門 (つづき)

(敬称略・順不同)

氏 名	功 績 内 容
安藤 慶子	長年にわたり、民生委員・児童委員として何事にも積極的に取り組み、地域福祉の向上のために尽力され、現在は、西地区民生委員児童委員協議会の副会長として、単位民生委員児童委員協議会の運営に貢献されている。
岡田 洋輔	別府市遺族会南立石地区の会長として、地区の生活支援サポート及び高齢化による諸問題への取組や戦没者遺族の福祉向上、英霊顕彰などを20年以上にわたり活動された。
衛藤 富喜雄	平成16年に保護司を委嘱を受けて以来、16年間にわたり多くの対象者の更生援助に尽力され、現在は別府保護区保護司会の研修部長として企画運営に携わり貢献されている。また「社会を明るくする運動」などの地域における防犯啓発活動にも積極的に参加され、保護司会の各種事業促進に寄与されている。
後藤 公子	平成20年に別府地区更生保護女性会に入会後、積極的に活動に参加し、理事になって以降は「社会を明るくする運動」への参加や街頭活動、赤い羽根等の共同募金活動、更には人権学習への参加や母子施設との交流など更生保護女性会の活動を率先して行われ、更生保護のみならず、地域の活性化に寄与されている。
柴田 悦子	平成10年より別府地区聴覚障害者協会の事務局長として、これまで行政関係者等を招いて「聞こえない・見えない聞こえない人の防災・支援マニュアル」学習会を開催されている。また、「別府市手話言語条例」制定に向けて地区のサークルと協議し、市議会へ請願書を提出する等、別府市の福祉発展のために尽力されている。
ほけっこの会	市内の医療型障害児入所施設において、平成17年から毎月1回、入所利用者に対し絵本の読み語りや、手遊び歌でふれあいを楽しむボランティア活動を行っている。また市内中学校においては平和学習の一環として朗読劇の上演を行うなど、児童の健全な成長発達に大きく貢献されている。
村田 辰己	昭和55年に消防団員拝命後、平成5年に班長、平成8年に部長、平成31年に副分団長へ昇任し、現在第4分団の副分団長として、団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上に努められた。また、地域住民との連携を保持し、あらゆる機会をとらえて火災予防の啓発に努め、被害の軽減を図っており、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。
藤内 正行	平成2年に消防団員拝命後、平成7年に班長、平成17年に部長、平成20年に副分団長、平成26年に分団長へ昇任、平成28年から後進に道を譲り、今まで培った経験等を伝授するとともに、住民との連携を保ち、地区の防災活動の担い手として、団員の教育、訓練指導や技術の向上に努められた。また、各種会合等に率先して出席し地域住民に対しても火災予防の啓発に努め、被害の軽減を図っており、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。
江藤 達治	平成2年に消防団員拝命後、平成9年に班長、平成17年に部長へ昇任し、現在、第2分団部長として、団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上に努められた。また、地域住民との連携を保持し、あらゆる機会をとらえて火災予防の啓発に努め、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。

## 功労表彰

### 公共福祉部門 (つづき)

(敬称略・順不同)

氏 名	功 績 内 容
前田 和宏	平成2年に消防団員拝命後、平成10年に班長、平成17年に部長、平成23年に副分団長、平成31年に分団長へ昇任し、現在第7分団の分団長として部下団員をリードし、住民との連携を保ち、地区の防災活動の担い手として、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図るなど、団員はもちろん広く地域住民から寄せられる信頼は絶大である。また、各種会合等に率先して出席し地域住民に対しても火災予防の啓発、被害の軽減に努められている。
別府温泉 杉乃井ホテル	ラグビーワールドカップ2019日本大会及び東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向け、参加チームのキャンプ誘致を推進する際、関係団体と協力の下、キャンプ受入に尽力された。ラグビーワールドカップでは、ニュージーランド他3つの強豪国が本市で公認キャンプを行い、国内外から多くの観戦客やメディア関係者が本市を訪れた。東京オリンピックに向けては、柔道男子チェコ代表がキャンプを行うなど、世界中に「国際観光温泉文化都市 別府」を発信した功績は多大である。
美湯の宿 両築別邸	ラグビーワールドカップ2019日本大会及び東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向け、参加チームのキャンプ誘致を推進する際、関係団体と協力の下、キャンプ受入に尽力された。国際リーグに参戦するサンウルブズがワールドカップ終了後もキャンプを行い、またラグビー7人制男子日本代表が来年開催予定の東京オリンピックに向け継続的にキャンプを実施するなど、市民の国際スポーツ大会に対する機運向上や地域経済活性化、本市の知名度向上等にも寄与されている。

### 教育・文化・スポーツ部門 (2名)

(敬称略・順不同)

氏 名	功 績 内 容
水谷 浩一	12年間の長きにわたり別府市PTA連合会事務局長を務められ、その間、九州PTA研究大会、大分県PTA研究大会別府市大会等の県大会の企画運営をはじめ、別府市PTA連合会の発展に貢献したほか、別府市教育委員会のコミュニティ・スクールの取組みに深く関わり、朝日中学校運営委員会の会長として、学校・地域・家庭が一体となって生徒の成長を促す活動の活性化を図るなど、教育分野の発展における功績は多大である。
清時 重男	昭和63年から別府市柔道連盟の会計担当役員を務められ、平成11年からは同連盟の理事長として会長を補佐し、柔道の普及・発展に尽力されている。また「別府いでゆライオンズクラブ旗争奪少年柔道大会」や「別府市少年柔道教室」の開設など少年柔道家の育成や技術向上、発展に貢献されている。



# 功労表彰

市民活動部門（2名・1団体）

（敬称略・順不同）

氏名	功績内容
別府友の会	「自由・協力・愛」をモットーに健全な家庭を育み、地域に働きかけ、よりよい社会を創るよう活動をされており、昭和56年から39年間、社会福祉協議会に地域福祉の推進を目的とした寄付が続けられている。
中田 宗治	上人南にある児童公園の美化活動として、花の世話やごみ回収などの景観美化活動を、平成19年から13年間にわたり毎日積極的に行っており、児童や地域住民への情操的效果や地域の美化に貢献されている。
奈須 和美	石垣小学校や中部地区公民館、緑丘町公民館の花壇の整備として、土壌づくりから苗や花の育成、水やりや雑草取りなど花壇の維持管理全般をボランティアで平成20年から12年間、月に4、5回一人で積極的かつ自主的に行っており、児童や地域住民への情操的效果や地域の美化に貢献されている。